



## まちの話題

Town topics

### 入学式・入園式

町内の小中学校及び保育園（所）で入学式・入園式が行われました。満開の桜が新入生を迎えるなか、少し戸惑いながらも式が始まると堂々と入場し、新しい学校や保育園での生活をスタートさせました。なお、今年度の入学・入園者数は以下のとおりです。ご入学・ご入園おめでとうございます。

- ・保育園（所） 67名
- ・小学校 104名
- ・中学校 119名

三宅小学校



三方中学校



とばっこ保育園



3/18

### 町長へ「第3次障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」を報告

若狭町第3次障害者基本計画等策定委員会は、障害のある人等に対する施策を総合的に推進するための基本的な方針となる「第3次障害者計画」、障害福祉サービス及び障害児通所支援等のサービス提供体制確保に向けた目標や方策等を定めた「第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」を策定し、渡辺町長に報告しました。本計画では、共生社会の実現や、災害対策・移動支援の拡充といった障害者支援の充実等を掲げています。

同策定委員会の山田善市委員長から本計画を受け取った渡辺町長は、「地域の方々や支援事業所の皆さまと協働し、町全体で誰もがいつまでも安心して生活できるまちづくりを進めたい」と話しました。



4/2

## 若狭町交通指導員 表彰・委嘱式

三方庁舎において、渡辺町長と町内交番所員らの出席のもと、令和6年度の若狭町交通指導員表彰式および委嘱式が行われました。

はじめに、渡辺町長から5年連続勤続となる2名に表彰状と記念品が手渡され、続いて今年度からの新任者1名へ委嘱状が交付されました。渡辺町長は、「日頃からの皆さまの活動に深く感謝しています。引き続き、町の安全安心のため交通指導をお願いします」とあいさつしました。



4/6

## 三方五湖開き

三方五湖に春の訪れを告げる「三方五湖開き神事」がレインボーライン山頂公園で行われました。これは若狭町・美浜町の両町でつくる三方五湖広域観光協議会が毎年開催しているもので、今年度は両町長をはじめ、行政・観光関係者ら約30名が参加しました。

同協議会の会長を務める美浜町の戸嶋秀樹町長は「山頂公園は、両町が世界に誇る景勝地であり、多くの観光客が訪れている。この流れを周辺エリアへもより一層広げていきたい」とあいさつしました。

神事の最後には両町長と株式会社レインボーラインの竹内利寿社長が「かわらけ」を投げて、湖の賑わいと観光客の安全を願いました。

4/6  
・7

## 第54回美浜・若狭両町長杯争奪高校野球大会

美浜町総合運動公園野球場にて、「第54回美浜・若狭両町長杯争奪高校野球大会」が開催され、美方高校・若狭高校・敦賀高校・敦賀工業高校・敦賀気比高校の5校が参加しました。

試合はトーナメント形式で、初日は開会式と準決勝までの3試合が行われました。2日目の決勝戦は、2年連続の同一カードとなる若狭高校と敦賀気比高校の試合となりました。試合は序盤から敦賀気比高校の打線が繋がりに、9-2（8回コールド）で敦賀気比高校が勝利、見事2年ぶり22回目の優勝を果たしました。



4/10

## 株式会社マイクロアドと観光DXに関する連携協定締結

観光面でのDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しようと、町は株式会社マイクロアド（本社東京）と連携協定を締結しました。

本協定では、同社が展開する自治体マーケティングプラットフォーム「まちあげ」を活用し、国内外の観光誘客プロモーションを推進することとしています。

三方庁舎で行われた協定書への調印式では、渡辺町長と藤川統執行役員が協定書に署名しました。渡辺町長は「町内の魅力をデータ分析して効果的に発信することで、国内外からの誘客に繋がりたい」、藤川執行役員は「魅力的な観光情報を誰にどのように発信していくかが大切。弊社であればそのお手伝いができると感じている」とあいさつしました。



# 社会教育委員ってなあに??

～地域を元気にするまなびとつながり～

## 人生を豊かにする、「人との関わり」 若狭町社会教育委員 高橋繁応

私はこれまで、海や山、川で生き物の観察会を行うなど、自分も楽しみながら活動してきました。今まで多くの人にお世話になってきたので、経験してきたことを生かして、大袈裟なことは出来なくても何か世の中に役に立つことが出来ればと考えています。理科の教員だったので、放課後児童クラブや、夏休み子ども科学教室での化学実験などの学習活動に加え、野鳥観察会やスノーケリングによる海辺の観察会などにも出かけています。それらの活動において、子ども達の目の輝きや、参加者の皆さんの笑顔を見ると、この活動を続けて来てよかったなと感じます。

人々が幸せに生きて行くには人と人との関わりは欠かせないと思います。『無縁社会』などという言葉が巷で聞かれるようになって来た昨今。微力ですが自分にできることを続けて行ければと考えています。



▲鳥羽川の生き物観察会



▲科学教室



▲高橋繁応さん

教育委員会事務局 ☎0770-62-2731

## 若狭町20年の記憶

～町の歩みを振り返る～



「輝き」と「優しさ」に  
出会える町へ



### 初代町長 就任のあいさつ

2005年3月31日に若狭町が誕生し、初代町長に就任したのは、「千田千代和町長」でした。千田町長は町長就任時のあいさつの中で、町長就任への想いや今後の町づくりについて、述べていました。

(前略) 郡域を越えた合併、さらには住民投票という試練を乗り越えた今回の合併は、今後の新町の行政推進に必ず大きく役立つものと確信しております。まずは和合の精神を忘れることなく、「若狭町はひとつ」という信念のもとに、融和を図っていきたいと考えています。

さて、新しいまちづくりに対する私の基本方針ですが、後援会活動時や立候補の際にも申し上げましたように、三方五湖をラムサール条約へ登録することや、荒廃した森林をはじめ、自然環境の修復を目指したバイオマスタウン構想の推進を基盤とした地域再生計画の推進、一次産業と連携した体験型観光の促進、豊富な水産資源を活用した地域活性化、社会教育の積極的な取り組みによる人づくり、育児の環境づくりと老人福祉対策など、新町の建設計画にのっとり、「合併して本当によかった」と実感していただける「まちづくり」を目指します。

町民と行政が一体となって、若狭町建設計画のテーマである「輝きと優しさに出会える町」が1日も早く実現できるよう、皆さまの絶大なるご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



▲就任のあいさつをする千田千代和町長

問い合わせ 総務課 ☎0770-45-9109

## 食べるを支える

## ケアマネジャーからのメッセージ

介護支援専門員（ケアマネジャー）は、要支援・要介護の認定を受けられた方が心地よく自宅で生活するために、利用者やそのご家族の日頃の生活や介護保険サービスの利用に関する相談を受け付けています。

なかでも「食べる」を続ける事は自宅で元気に暮らすための大切なポイントです。みなさんは、高齢になっても、介護が必要になったとしても「ずっと食べていたい物」は何を思い浮かべますか？お肉やお魚、おまんじゅう、お漬物、うなぎ等・・・しかし、年齢を重ねると、身体の不調や体力の低下、ロや歯のトラブルなど、さまざまな理由でそれらが食べられなくなることがあります。

私たちは、「ずっと食べていたい物」を食べ続ける事ができるように、主治医や歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士、リハビリ担当者およびサービス事業所（ホームヘルパーや訪問看護等）などと連携して、利用者一人ひとりにとって必要な支援を考え、相談、調整していきます。

いつまでも住み慣れたご自宅で、好きな物を食べて、たくさんお話して、大きく口を開けて笑って、お元気に過ごしていただけるように、お手伝いができたらと思います。

不安な事や心配な事があればお気軽にケアマネジャーにご相談ください。



支援センターよりどころ 西村洋平さん  
居宅介護支援事業所パレア若狭 大林和代さん

今月号で「自分の食べたいものを最期まで食べられるように」の連載は終了です。この連載が皆さまの健康増進のお役に立つことができたら幸いです。

問い合わせ 地域包括支援センター ☎0770-62-2702

## 診療所だより



## 上中診療所に赴任された医師を紹介します

4月から月・木曜日の午前中に小浜病院内科医師による診察を行っています。



医師 齋藤 大雅

勤務曜日 月曜日

福井県出身です。自治医科大学を卒業し、福井に戻ってまいりました。趣味は温泉巡りです。地域の皆様の健康を支えられるよう日々努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。



医師 前田 良太

勤務曜日 木曜日

若狭高校出身です。自治医科大学を卒業後、福井市で医師としての経験を積み、約10年ぶりに嶺南地域に戻ってきました。人柄が穏やかで自然も豊かな嶺南地域が幼少期から大好きだったので、ここで働けて嬉しいです。

まだまだ未熟者ですが、地域に貢献できるよう尽力しますのでよろしくお願いいたします。

○上記医師の診察受付時間は、8:30～11:30です。（予約不要）

○各種健康診断、発熱外来等も受け付けておりますので、まずお電話ください。

問い合わせ 健康医療課 上中診療所 ☎0770-62-1188



若狭町

社会貢献型

# SDGs みんな de ハッピー 健康ポイント

## HAPIPO ハピポ

対象者 若狭町に在住・在勤・在学する方

ハピポ付与期間：2024.5/18 土 ▶ 12/31 火 [228日]

ハピポ消費期間：2024.12/1 日 ▶ 2025.3/31 月

健康づくりのために  
ポイントをとめて！

みんなのために使おう！

STEP  
1

### LINEで参加エントリー

5.18  
スタート



若狭町LINE公式アカウント  
から参加登録

20周年  
特別特典

- 特典1 エントリー時に 20pt プレゼント！
- 特典2 登録者（7月末まで）の中から抽選で100名様に町内ジム無料利用券プレゼント！

STEP  
2

### ためる 活動に応じてポイントをGET!

#### 日常生活

- 運動 …… 1日の設定目標達成 5 pt  
(例えば1日6000歩あるく、1日1回ストレッチするetc.)
- 体重測定 …… 1日1回以上測定 1 pt
- 血圧測定 …… 1日1回以上測定 1 pt
- 減塩 …… 心がけ 2 pt
- 野菜摂取 …… しっかり食べる 1 pt

#### 参加活動

- 特定健診 …… 1回受診 100 pt
- がん検診 …… 1種類受診 100 pt
- ツデーマーチ …… 1回参加 100 pt
- 健康イベント・研修\*1 …… 1回参加 50 pt
- 町内民間ジム利用\*2 …… 1回参加 10 pt

\*1 地域等が主催する健康づくり関係イベント・研修会含む  
\*2 フィットネス・バレア若狭、北原ボディメイクジム、O/N ストレーニング Ohana

STEP  
3

### つかう 使い道は3つ！用途も配分も自分で選べる！

- 子どもたちのため …… 町内の保育所などに絵本・図書をプレゼント
- 地域のために …… 集落ごとのポイントに応じて集落に助成金を交付
- 自分のために …… 地域通貨アプリ「わかサイフ」にチャージ

実施主体 若狭町・若狭町デジタルポイント推進協議会  
お問い合わせ 若狭町役場健康医療課(上中庁舎) 若狭町市場20-18  
tel: 0770-62-2721 mail: kenkou@town.fukui-wakasa.lg.jp

